

<b>3類型</b>	鉱工業品又は鉱工業品の生産に係る技術	<b>通巻番号</b>	1 - 19 - 001
<b>地域資源名</b>	牛尿バイオ活性液	<b>認定日</b>	平成19年10月12日
<b>地域</b>	北海道北見市	<b>所管省庁</b>	経済産業省

## 事業名:牛尿バイオ活性液を活用した環境浄化液の開発

会社名:株式会社 環境ダイゼン  
 連絡先:TEL:0157-67-6788  
 FAX:0157-67-6618

所在地:北見市端野町3区438-7  
 HP: <http://www.okhotsk.or.jp/kankyo-mirai/>

### 事業概要(新たな活用の視点)

- ・本事業で活用する地域産業資源「牛尿バイオ活性液」は北見地区を流れる常呂川への汚染対策として、牛尿を無害化し、液肥として活用するために15年前に開発された技術である。
- ・本事業は、牛尿バイオ活性液を単なる液肥利用だけではなく、悪玉菌を抑制し善玉菌を増殖させる性質や効果が屋外でも長期間持続する性能を活用して連作障害対策の土壌改良剤としての用途、又抗菌消臭機能を有することを活用して、飲食店などの浄化槽施設や介護施設などの業務用消臭剤としての用途を計画している。



【本社・工場】

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### 競争力

- ・本事業で開発しようとする商品はバイオ酵素の働きが悪臭の原因となる腐敗菌の増殖を抑制することで抗菌、消臭効果を発揮する。また、乳酸菌や酵母菌などの有用菌の増殖を促進させるため、抗菌消臭効果の持続期間も長いという特徴をもつ。
- ・低温での活性(増殖性)力も強く、屋外においても使用でき効果を発揮する。なお、屋外で使用できる類似商品は少ない。

#### 市場性

- ・業務用として飲食店(厨房排水溝)から発生する悪臭対策ニーズ(中華飲食店市場規模3億6千万円)、畑作園芸農家では連作障害対策ニーズ(農業向け市場規模160億円)があり、うち1%強(2億2千万円)の売り上げシェアを見込む。

#### 販路

- ・現在想定しているのは、屋外使用に重点を置いた需要の掘起しである。畑作用の土壌改良剤、厨房排水溝消臭剤これらの分野は進出企業が少なく未開拓の分野のため、大きな需要が期待できる。



【製造部門】



【検査部門】

### 地域資源における関係事業者との連携

- ・調査、分析においては地元、北見工業大学と連携する一方、地元酪農家と協力して原料供給及び浄化液の効用についてコメント、アドバイスを受け改良、改善に役立てる。